

南砺市長 田中 幹夫 様

要 望 書



平成 30 年 11 月

公益社団法人 南砺市シルバー人材センター



要 望 書

少子高齢化が進み人口が減少している中で、国の成長力を確保していくために、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢に関わりなく活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっています。

このような中で、シルバー人材センターは地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなどにより、高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、生きがいの充実、社会参加の促進を実行し、地域社会の活性化と医療費や介護給付費の削減に寄与しているところです。

昨年三月に決定された「働き方改革実行計画」においても、シルバー人材センター事業の果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

こうした中、当センターでは高年齢者雇用安定法の改正による派遣事業の就業時間の拡大にも積極的に取り組む一方、サービス業等の人手不足分野や介護、育児等の現役世代を支える分野での高齢者の就業を推進することを目的とする国の「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を積極的に活用し、会員の拡大と求人開拓、企業との

就業のマッチングを進めています。

また、安定した運営体制を維持するため策定した、定員適正化計画に基づく運営改革実施計画により城端と福光支所を福野本所に統合し、職員を減員して事務の効率化に努め財政の健全化を推し進めています。

つきましては、平成31年度も当センターが活発な活動が展開できるよう、国の補助事業に伴う地方公共団体の補助額の確保、介護予防・日常生活支援総合事業への参入に向けての支援並びにシルバー人材センターに対するこれまで以上の発注を強く要望いたします。

H30-046-001 地域包括ケア課 長寿介護係

平成30年11月28日

公益社団法人 南砺市シルバー人材センター

理事長 長 尾 益 勇

